

携帯電話・スマートフォンの利用と 学習状況について

「全国学力・学習状況調査」の結果から

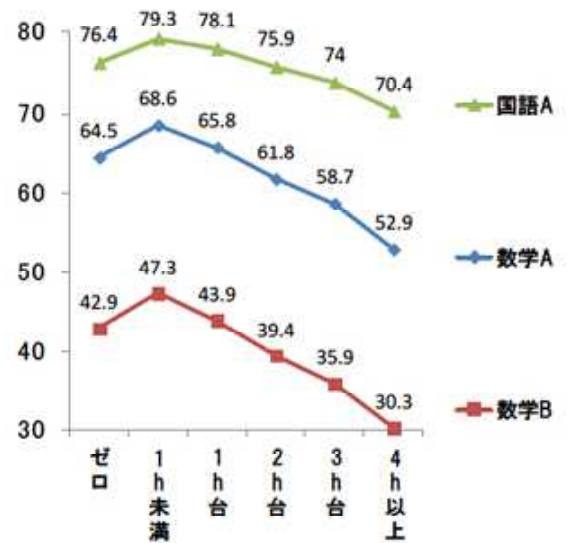
文部科学省は8月、「全国学力テスト」と同時に行った小学校6年生、中学校3年生の全児童・生徒を対象とした「全国学力・学習状況調査」の2014年度の結果を公表しました。

アンケート調査の結果から、中学3年生では、アンケートの回答の中で、4時間以上スマートフォンを使う生徒の数学Aでの平均正答率が55.7%でした。それに対してスマートフォンの使用時間が30分未満の生徒（スマートフォンを持っていないものを除く）の数学Aでの平均正答率は72.7%となっています。

また、「国語A」では、使用時間が30分未満の生徒の平均正答率が82.0%だったのに対し、4時間以上だった生徒では73.5%でした。

このように利用時間が短いほど平均正答率が上がる（利用時間が長いほど平均正答率が下がる）という傾向がきれいに出ています。

テレビゲーム（ゲーム機、携帯電話、スマートフォンなどを含む）の利用時間についても同様の傾向が出ています。この調査結果から、文部科学省では「携帯電話やスマートフォンなどは、はじめを持って使用することが大事」と注意を促しています。



学校の中（世の中）で「できる人」って、 どんなことができる人だろう？ ～校長先生の始業式での話より～

- ①身の回りのことが整理整頓できる人。自分のロッカーや教室など見たらわかります。
- ②集中できる人。授業中など本気になって集中できている人。
- ③相手のことを思いやれることができる人。
- ④気持ちを切り替えることができる人。家でいやなことがあっても、学校で気持ちを切り替えて考えることができる人。
- ⑤気づくことができる人。相手の気持ちや表情、落ちているゴミなどに気づくことができる人。
- ⑥感謝できる人。

君たちの生活を振り返ってみましょう。①から⑥の中でどれができていますか？まだ、できていないことはいくつありますか？これらを学ぶ場が学校です。義務教育の仕上げとして中学校生活3年間でこれらのことを集団の中で学び、社会に出ても周囲から認められる『できる人』になってほしいと思います。

お知らせ

学校の基準服のリサイクルについて (PTA生活指導部)

毎年、合唱祭の時に基準服のリサイクルを行ってきましたが、今年度は、7月に全くりサイクル品が集まりませんでしたので、基準服の配布を中止とさせていただきます。

14日(火)から冬服への移行期間が終わり、完全冬服となります。ボタンをとめる、名札をつける等を意識して、すてきな着こなしで登校してください。

学びから逃げない!

